

委任統治期南洋群島における沖縄出身移民

— 世代ごとにみる労働・生活・地縁血縁関係の展開と変容 —

森 亜紀子

(京都大学大学院農学研究科 博士後期課程)

2010年12月



京都大学グローバル COE

「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」

Global COE for Reconstruction of the Intimate and Public Spheres in 21st Century Asia

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院文学研究科

Email: intimacy@socio.kyoto-u.ac.jp URL: <http://www.gcoe-intimacy.jp/>

アブストラクト

本企画は、委任統治領南洋群島における沖縄移民の多様な実態を、労働・生活・地縁血縁関係の展開と変容に着目しつつ、具体的に明らかにすること目的とし、2009年夏・秋に沖縄に暮らす南洋群島引揚者62名に対し聞き取り調査を行った。そして、沖縄移民の経験の多様性は、出生年を基準とした以下（ ）内の4つの世代の差異として把握するとよりよく理解でき、またその全体像をも把握できることを指摘した（初期移民：1890～1900年代生まれ、後期移民：1910～1920年代前半、初期移民の子ども：1920年代後半～1930年代前半、後期移民の子ども：1930年代後半～1946年）。

キーワード：南洋群島・沖縄移民・世代・経験

2009 年度次世代研究「委任統治期南洋群島における沖縄出身移民 一労働・生活・地縁血縁関係に着目して一」（研究代表：森亜紀子）による成果である。

【メンバー】（ ）内は 2009 年度プロジェクト時点

森 亜紀子（京都大学大学院農学研究科 博士後期課程）